

宮城県内におけるガンカモ類生息調査の結果について（確定値）

（令和7年3月6日実施）

1 生息数及び構成比

種類	羽数：羽	構成比：％	備考
ガン類	2,551	8.8%	過去 18 番目
ハクチョウ類	900	3.1%	過去 45 番目
カモ類	25,599	88.1%	過去 22 番目
計	29,050	100.0%	過去 29 番目

※ 3月調査は昭和47年度から実施しており、今年度は53回目となる。

2 前年同期との比較

単位：羽

調査月日	ガン類	ハクチョウ類	カモ類	計
令和7年3月6日	2,551	900	25,599	29,050
令和6年3月7日	26,947	702	24,939	52,588
増減	▲ 24,396	198	660	▲ 23,538

3 主な確認地

地点名

市町村

羽数

（1）ガン類

昨年の羽数

伊豆沼・内沼	（栗原市・登米市）	1,749 羽	13,121 羽
波伝谷	（南三陸町）	351 羽	178 羽
蕪栗沼	（大崎市）	99 羽	13,017 羽

（2）ハクチョウ類

長清水	（加美町）	220 羽	0 羽
中原水田	（丸森町）	181 羽	0 羽
阿武隈川－新町地点	（丸森町）	109 羽	22 羽

（3）カモ類

孫沢ダム	（加美町）	3,620 羽	910 羽
伊豆沼・内沼	（栗原市・登米市）	1,635 羽	1,624 羽
鳴瀬川－鳴瀬大橋下流地点	（東松島市）	1,391 羽	25 羽

4 調査箇所数

県内のガン、ハクチョウ、カモ等の飛来地527か所

5 調査人員

県職員、県自然保護員、蒲生を守る会及び日本雁を保護する会等

102 人

6 その他

本調査の内容については、宮城県自然保護課ホームページで確認できます。

HPアドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/gankamo-top.html>

7 飛来状況

ガンカモ類の北帰行は1月下旬から始まり、2月上旬以降の寒波によって足踏み状態のときもあったが、気温の高い日もあったことから順調に北帰行が進んでいると言える。